



RI 第 2 6 1 0 地区 井波庄川ロータリークラブ会報

2009-2010 年度 No. 26

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashore@athena.ocn.ne.jp

2009-2010 年度 会長 斉藤 彰、幹事 坂井 彦就

2009-2010 年度 RI テーマ



「ロータリーの未来は
あなたの手中に」

(ジョン・ケニー会長)

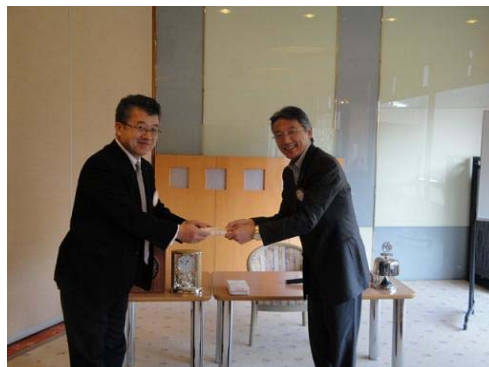
例 会 記 録

第 1 5 1 3 回例会

平成 2 2 年 3 月 3 日(水) : ひな祭り 三楽園



1. 点 鐘 斉藤会長
2. 君が代斉唱
3. ソング 奉仕の理想
4. ゲスト ①山口秀雄第3分区ガバナー補佐 様
②尾田武雄氏砺波市文化財審議委員
5. 月結婚記念日 浅田会員(11日)村松会員(17日)三谷
会員(20日)坂井会員(24日)小西会員(29日)



6. 会長の時間 ・先週は3RC懇親会、お疲れ様でした。
南砺 RC に、メイキャップにいきお礼を言って
きましたが、いい会で会ったとお褒めの言葉を
頂きました。本日は、尾田様、山口ガバナー補
佐、ようこそ。
7. 幹事報告 ・R 財団から寄付のお願い・国際親善交換
学生募集の案内・ガバナー月信に活動報告依頼
があります。
・来週(10日) : ゲスト、藤井秀嗣高瀬神社権
宮司)、再来週(17日)は、会場が三楽園です。

8. 委員会報告

- ・ 中学生等精勤賞の該当者数報告(山本)：13名

9. 出席委員会 22名中14名出席 (66.67%)

10. ニコニコBOX(河合SAA：本日9名?円)

齊藤会長、三谷会員、浅田会員、上田会員、坂井会員、岩崎会員、小西会員、山本会員、河合会員

11. ミニ卓話 山口秀雄ガバナー補佐(射水RC)



本日は、当クラブへ3度目の訪問です。ガバナーから、年度内に各クラブへ4回訪問を義務付けられています。この3月は異動の時期です。会社関係のロータリアンには、引継ぎをお願いし、退会防止に協力を！3月27日は、小杉カントリークラブで、「友情」をテーマに、IMを開催します。是非大勢の参加を！こういう機会だからこそ、こんな場でビジネスチャンスを作ってください。このIMで、各クラブから、代表1名が7分の発表をしていただきます。ガバナーの方針で、IMは推奨しないということで、地区内ではいくつか中止するところもありましたが、当第3分区では、こんな時期に敢えて行う意図はなどと、意見が出ましたが、多数が開催を希望されましたので、宜しくご理解を！当日は、ゴルフもやるので奮って参加を！

12. ゲスト卓話「砺波の石仏」 尾田武雄氏(砺波市文化財審議委員)

：紹介者(横山幹会員)

砺波市太田の出身で、石仏について30年ほど研究しています。県内には、1万1千体ほど石仏が存在するが、この砺波と南砺で、2700体余りあります。

1. 石仏とは何か・・・大きく分けて、地蔵様とその他の石でできた崇拜物。
2. 石仏の種類・・・①磨崖仏：岩に彫ってある石仏(例：

上市大岩日石寺にある石仏)②独立石仏：道端にある単独の石仏。

3. なぜ石仏は造立されるか・・・①死者供養：これが多い。②境界観 ③宗教的造形：村のシンボル(辻や中心部にある。例：神像)
4. 石仏にはどんなものがあるか・・・①如来(真実の世界から生まれた覚者。例：お釈迦様など。)②菩薩(悟りを求める修業中の人。例：観音様や地藏菩薩など。圧倒的に地藏様が多い。)③明王(迷う衆生を威力を持って仏法に従わせ、救済する。例：不動明王など、これも多い。)④天(天上界に住む仏教の守護神。例：仁王、毘沙門天、大黒天、弁財天。庄川にある。)⑤神像(神様のお姿。例：恵比寿、稲荷、天神様。)⑥その他(聖徳太子：瑞泉寺に縁のある井波周辺に多い。弘法大師、親鸞聖人、蓮如上人など。)



5. 砺波地方の石仏の特徴

- ① 地藏様が多い：小矢部の80%、砺波の60%
- ② 幕末・明治期に多く造立：獅子舞など文化の興隆が見られるのと平行して。
- ③ 青年たちによる石仏の造立が多い：若連中、若衆建立と名前の彫ってあるものでわかる。
- ④ 石材は、金屋石(緑色凝灰岩：グリーントフ)が多い。
- ⑤ 金屋の石工と職人：森川栄次郎という人は、千体掘ったといわれる。
- ⑥ 路傍の石仏ながら、お堂に納められている。(全国的にも、砺波地方だけ。)
- ⑦ 管理者が周知されている：お花を手向ける人など。
- ⑧ ゴーサマ(地藏様)祭が継承されている：8月24

日中心に。

- ⑨ 弥陀一仏の真宗王国ながら、石仏の種類が多い。
- ⑩ 石動山定着修験による珍しい石仏の造立がある。
- ⑪ 「南無阿弥陀仏」の名号塔が多い。
- ⑫ 石仏の建造費について：工賃は高くはなかったのだろう。
- ⑬ 大岩日石寺磨崖仏の模刻石仏が多い：ここからは遠いので、まねて不動明王を近くに作ったのでは？
- ⑭ 江戸時代は加賀藩：金沢石工も多い。
- ⑮ 井波町など石工による石仏も多く見られる。
- ⑯ 土徳の風土がある：地元で磨かれる技術。
- ⑰ 井波町瑞泉寺太子堂に安置されてある聖徳太子南無仏石仏が多く展開している。

以上、桂書房から「とやまの石仏たち」という著書もあり、ご覧下さい。

【編集後記】

本日は、山口ガバナー補佐が訪問されました。IMの開催の意義の説明をもう少し詳しくしていただきたかったが、よくわかりませんでした。ゴルフ場で開催するのはいいにしても、ゴルフをしない人を集めるのは難しいのでは・・・

横山幹会員の紹介の尾田武雄氏の卓話は、大変わかりやすく、身近な昔からのお地藏様やお不動様のいわれがわかりました。「とやまの石仏たち」をお譲り頂いて、読んでみましたが、30年よくここまで調べられたと感心致しました。ただ、昔からあるものと片付けるのではなく、なぜ存在するのか知る事は、先祖を知り、これからの自分の行き方を学ぶために、大事な事だと感じました。来週は、高瀬神社について学びたいと、藤井秀嗣権宮司様を予定しています。奮って参加をお願いいたします。

(山本 記)